

青森県現代俳句協会会報

平成30年度青森県現代俳句協会総会

平成30年5月13日(日)10時30分から青森市文化会館において開催しました。

開催に当たり泉会長から挨拶があり、引き続き会長が議長となつて会議を進行しました。

第1号議案は29年度の事業報告として、役員会、総会、第10回青い森県民俳句大会、年鑑発行、現代俳句東北大会(福島市)、秋の吟行互選俳句大会について千葉事務局長から説明があった。引き続き関連があることから第2号議案29年度収支決算について説明があった。次いで議長から監査報告が求められ、田中監事から適正であることの報告があった。このあと、第1号議案と第2号議案について質問がなく了承された。第3号議案30年度事業計画(案)と第4号議案30年度収支予算(案)は関連があることから引き続き説明があった。このあと質問がなく了承された。

最後に、昨年度了承された年鑑賞について、規定案及び今年度の選考経緯とその結果について説明をしたところ、一部説明を求められたので内容を説明し、了解を得た。

その経緯と結果については年鑑賞の項目に記載しました。

平成29年度収支決算

1 収入	517,023円
繰越金	76,523円
会費	71,000円
本部交付金	85,500円
年鑑参加費	67,000円
青い森大会	181,000円
秋の吟行会	36,000円
2 支出	445,134円
運営費	45,893円
事業費	379,241円
予備費	20,000円

平成30年度収支予算

1 収入	464,000円
繰越金	71,889円
会費	75,000円
本部交付金	80,000円
年鑑参加費	67,000円
青い森大会	170,000円
雑収入	111円
2 支出	464,000円
運営費	50,000円
事業費	404,000円
予備費	10,000円

2018年版青森県現代俳句年鑑賞

この賞は今年度から創設されました。年鑑には会員の作品59編が掲載されていますが、本賞の対象となった作品は、顧問、会長、副会長、事務局長を除く49編となりました。

選考委員は顧問が務めることとなっており、第一次選考では2人以上の委員の推薦のあった15編が第二次選考の候補作に上がりました。そして、第二次選考の結果は次のとおりになりました。詳細については来年度の年鑑に記載します。

第1席 12点

「過ぎ行く」 野辺地町 後藤 瑞江
←泉会長と受賞者(後藤氏)



第2席 9点

「バームクーヘン」 八戸市 ちばみちろう

第3席 8点

「エデンの園」 青森市 工藤 克巳
「昭和の日」 青森市 川村 英幸

第11回青い森県民俳句大会

総会と同じ会場で12時から俳句大会を開催しました。投句者は170名で当日参加者は105名と昨年よりは少なかったものの盛会でした。大会の結果は次のとおりです。

- ①知事賞・飯田知克(むつ市)、②県議会議長賞・対馬智恵子(青森市)、③青森市長賞・木村あさ子(弘前市)、④青森市議会議長賞・高野万津江(弘前市)、⑤東奥日報社長賞・日野口晃(十和田市)、⑥陸奥新報社長賞・田村正義(八戸市)、⑦デリー東北社長賞・畠山容子(弘前市)、⑧伊藤芳博(青森市)、⑨中村しおん(十和田市)、⑩田端千鼓(八戸市)、⑪木村秋湖(青森市)、⑫千葉芳醇(青森市)、⑬小野寿子(青森市)、⑭竹鼻瑠璃男(弘前市)、⑮小野いるま(青森市)
- ・兼題賞…木村あさ子
- ・席題賞…対馬智恵子

兼題高点句

作品A

剪定の音に津軽の幕上る 木村あさ子
エプロンもて鎧ふ半生夕ざくら 後藤 朋子
春めくや問診票に嘘少し 飯田 知克
田水張るはがねのごとき一枚田 中村しおん
ささくれの指に親しき春の水 加藤 孝子
すぐに来る人の晩年涅槃西風 佐々木 一湖
憎むこと知りし少女よ聖五月 日野口 晃
郷の春種おく土の息遣ひ 白戸 星央

今ならばついて行くかも花吹雪 柳野ゆめ女
しんがりに漲るちから帰白鳥 山谷 文子
フクシマにまたカタカナで春がくる 千葉 芳醇
テトラポット越えし歓喜の春の波 齋藤今日子

ふらここや未来の見ゆる高さまで
さへぐりの仲間に入れてくれないか
火にいのち授け野焼の始まりぬ
慎ましき母の生涯草の餅
後藤 岑生
畠山 容子
高野万津江
笠原 優

席題成績 (佳作は省略)

「帆立貝」木村 秋湖 選

天位 対馬智恵子
地位 飯田 知克

陸奥湾の潮の滴る帆立貝
人位 秋谷美智子

秀逸 筑田まさ子
帆立貝生簀より吐く海の色

貝焼味増使い込まれし帆立貝
一徹の夫好みなる帆立貝
貝殻の山なす漁場や帆立貝
陸奥湾の潮目育む帆立貝
明才地禮子

「帆立貝」泉 風信子 選

天位 畑中 月穂
地位 日野口 晃

真夜中に飛ぶ帆立貝見てしまふ
人位 山口 彰

秀逸 中村しおん
帆立貝閉じて記憶にございませぬ

帆立貝箱ごと置いてゆく漢
美しく寂しく焦げる帆立貝
荷揚場にひとつこぼれし帆立貝
帆立貝焼いて軍手のぬれてをり
田村 正義
坂本 吟遊
南 美智子
秋谷美智子

「母の日」大瀬 響史 選

天位 関 礼子
地位 小野 寿子

母の日や来世も母の子と生れん
「このカレー旨い」と母の日の母は

毎日が母の日だよと母の云ふ
秀逸 日野口 晃
母の日や働くほかの母知らず

母の日です過去帳の母と同年
母の日の母の料理で癒さるる
母の日の母は厨を片付けて
母の日の母には母の介護あり
飯田 知克
木村 匡
稲部天津子
木村 秋湖
伊藤 芳博

「母の日」日野口 晃 選

天位 飯田 知克
地位 対馬智恵子

母の日や働くほかの母知らず
母の日や遺されしもの臍ひとつ
人位 伊藤 芳博

秀逸 高森ましら
母の日の最後は母の日となりぬ

母の日や母はいつもの割烹着
母の日や見覚えのある博多帯
子等の来て母の日の母多忙なり
母の日や鴨居の母はセピア色
高橋千夜湖
江渡永見子
佐々木寿子
大瀬 響史

「落」坂本 幽弦 選

天位 岡部 文子
地位 成田みどり

落の葉を負えば背中にもたれけり
人生の余白に伽羅の落を煮る
人位 畑中とほる

野落煮て終日匂ふ家の中
秀逸 小野 寿子

落むいて地獄抜けたるやうなる手
落を煮て民話の夜を深くする
落の葉に雨の小人の遊びをり
落の雨一滴づつの匂ひかな
妣とゐるごとき灯影や落を剥く
泉 風信子
高野万津江
田端 千鼓
田村 正義

「落」橘川まもる 選

天位 金田一子

落の葉を風のいたぶる峽の果て

落を剥く右手を少し黒くして
人位 木村 秋湖

鎌持てば落採り一揆のいでたちに
秀逸 竹鼻瑠璃男

落むいて地獄抜けたるやうなる手
落の葉に雨の小人の遊びをり
日本海は銜かへさず崖の落
ばうばうと千空旧居の秋田落
葬の日の落さわさわと吹かれをり
浅利 康衛

青森県俳句懇話会俳句大会

県俳句懇話会の俳句大会が6月3日(日)12時から青森市文化会館で開催されました。その結果を本協会員だけについてお知らせします。

○総合順位
2位・泉 風信子、4位・松宮梗子、6位・稲部天津子、16位・田村正義
○兼題高点句・作品A
うつし世のここが真ん中桜満つ
窯出しの大皿小皿緑立つ
花便りああもう父の三回忌

田村 正義
田中 三桃
木村 匡

干鰯むしり父の昭和が呼吸する
百まではまだ間があるぞ種を蒔く
花あけび出自のいろをつらぬけり
たましひとなりて乗りたき花筏
旋回の鳶押し上ぐ風五月
顔の裏に二つの村ありアイヌ葱
泉 風信子
稲部天津子
松宮 梗子
田村 正義
一戸 鈴
徳才子青良

◆今後の大会等予定

- ・第46回県懇話会十和田大会 7月29日
- ・第32回現代俳句東北大会 9月22日
- ・第37回県下深浦俳句大会 9月29日
- ・第58回県下五所川原俳句大会 10月14日
- ・秋の吟行互選俳句大会(五所川原市) 10月27日
- ・第38回弘前俳句大会 11月4日

発行所 青森県現代俳句協会
発行人 泉 風信子
〒03618241 弘前市桜ヶ丘二丁目8-11